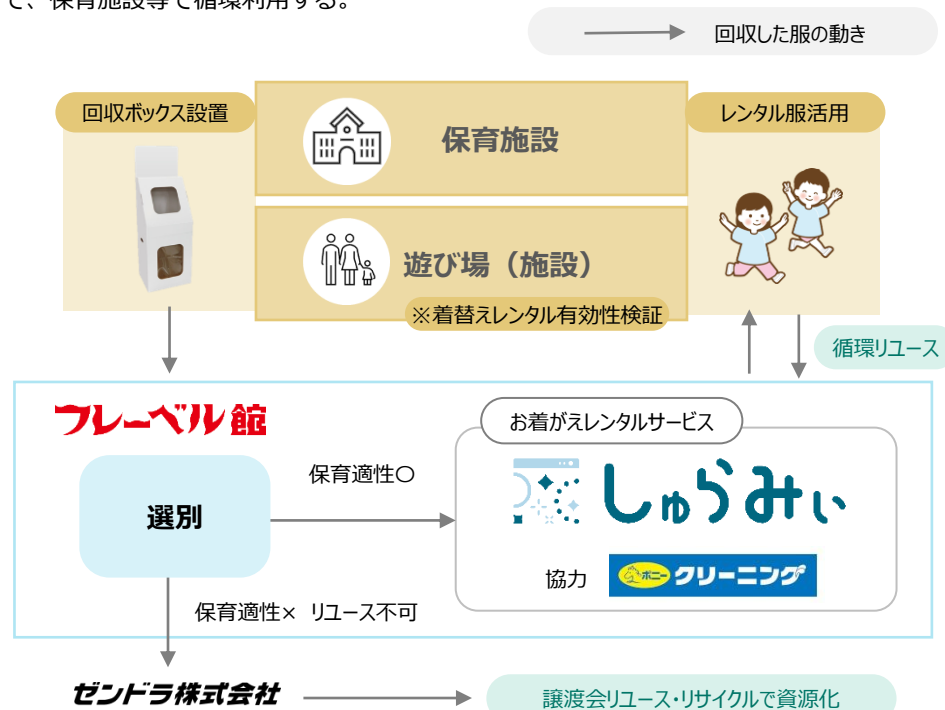


- 家庭で不要となった子ども服を保育施設や遊び場等で回収し、クリーニングを経て、着替えレンタルサービス「しゅらみい」として再提供する循環型モデルの有効性を検証。
- 「汚れても安心な服」としての普及を目指し、牧場や公園、保育施設での親子イベントといった多様な利用シーンにおける実証体験調査も実施。既存サービスとは異なる環境下での受容性を分析。
- 事業で得た知見を活かし、「しゅらみい」を核としたリユース推進の協力体制を発展予定。

事業の全体像

保育施設・遊び場（その他施設）に回収ボックスを設置。集めた服は、フレーベル館が選別し、保育適性がある服は、お着替えレンタルサービス「しゅらみい」のレンタル服として、保育施設等で循環利用する。



取組の様子



子どもたちによる
「こどもふく回収BOX」制作



「しゅらみい」実証体験調査

取組の成果

- 15拠点において子ども服4,614点を回収、約779kg-CO₂の環境負荷低減効果を創出。
- 本リユース事業の継続参加意向が90%に達し、生活動線上での回収が行動変容に寄与することを実証した。
- 3拠点の遊び場での検証を通じ、洗濯負担の解消等がレンタル継続活用意向90%に繋がることを確認。着替えレンタルを子ども服のリユース先とする独自の価値を実証し、保護者や保育者から支持を獲得した。